

2023年度

GC

# 英 語

3月12日(日)

グローバル共創科学部

15:10~16:30

【後期日程】

## 注 意 事 項

### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、6ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題は、声を出して読むてはいけません。
- 6 配点は、比率(%)で表示してあります。

### 試験終了後

- 7 問題冊子は、必ず持ち帰りなさい。

1

次の英文を読んで、問1～問5に答えなさい。(配点35%)

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

# 著作権の関係上、公表しません。

interstellar medium : 星間物質      radiate : 放射する      cosmic : 宇宙(天体)の  
autobiography : 自伝      theory of general relativity : 一般相対性理論      stellar : 星の  
spectra : 分光スペクトル      lithium : リチウム      barium : バリウム  
abundant : 豊富な      helium : ヘリウム      twilight : たそがれ

(出典：“Cecilia Payne-Gaposchkin: the woman who found hydrogen in the stars.” *Physics World*.)

<https://physicsworld.com/a/cecilia-payne-gaposchkin-the-woman-who-found-hydrogen-in-the-stars/> 出題にあたり一部改編した。)

問 1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部(2)の “This” の内容を日本語で答えなさい。

問 3 下線部(3)に関して、次の質問に英語で答えなさい：What was the big surprise?

問 4 下線部(4)に関して、ヘンリー・ラッセルが仮説に間違いがあると考えた理由を日本語で説明しなさい。

問 5 下線部(5)に関して、次の質問に英語で答えなさい：

What was truly significant?

2

次の英文を読んで、問1～問5に答えなさい。(配点35%)

## 著作権の関係上、公表しません。

chardonnay : シャルドネ種のブドウで造った白ワイン

rosé : ロゼ(薄いピンク色のワイン)      augment : 増加させる      aroma : 芳香

tinkle : ちりんちりん鳴る      robust : 強固な      nutrient : 栄養素      toxin : 毒素

nearsightedness : 近視      neuron : ニューロン(神経細胞とその突起の総称)

regenerate : 再生する

(出典：“The Flavor Illusion.” *The Brain*. National Geographic 2022 special edition. pp.48-49. 出題にあたり一部改編した。)

問 1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。その際 this same principle がどのような内容かが分かるように訳しなさい。

問 2 下線部(2)“a more realistic possibility” の具体例として、筆者はどのような例を挙げていますか。日本語で答えなさい。

問 3 甘さの感覚を増すことを可能にする外的環境要因として、筆者はどのような例を挙げていますか。日本語で答えなさい。

問 4 Wang 氏は嗅覚と味覚で風味(flavor)を味わうことの魅力としてどのようなことを述べていますか。他の感覚との対比を踏まえながら日本語で答えなさい。

問 5 文中に( a )～( e )の空欄があります。それぞれに入る適切な前置詞を以下から選びなさい。その際、同じ前置詞を 2 回使ってはいけません。

[of without from by on]

- 3 私達は、何かのプロジェクトを遂行するに当たり、単独で作業をすることも、グループで作業をすることもあります。あなたは、グループで作業をすることの長所と短所は何であると考えますか。また、グループで作業を成功させるために最も重要な点は何であると考えますか。いくつかの具体例を挙げながら、120 語程度の英語で教えてください。(配点 30 %)

## 正解・解答例

教科・科目名	英語（後期日程試験：令和5年度） 1 / 2	問題番号	G C
対象学部・学科	グローバル共創科学部		
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">1</div> 35% 採点時の配点 70点	<p>問1： 水素の宇宙における重要性がセシリア・ペインという一学生によって初めて理解されたことを知っている人の数は多くない。（14点）</p> <p>問2： アインシュタインの一般相対性理論を確証した1919年の西アフリカへの調査旅行に関するエディントンの講演。（14点）</p> <p>問3： The big surprise was that hydrogen was a million times more abundant than the other elements. （14点）</p> <p>問4： ラッセルは、水素が金属よりも100万倍も多く存在することはあり得ないと考えていたから。あるいは、ラッセルは、地球と太陽は同じ成分でできていると考えていたから、という解答も正解。（14点）</p> <p>問5： It was significant that Menzel got Payne appointed a full professor of astronomy. （14点）</p>		
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">2</div> 35% 採点時の配点 70点	<p>問1： しかし現在まで、こうした色が風味に関する知覚を変化させるという原則が、着色が現れないコーヒーのような物理的特性を持つものに当てはまるかどうかを検査する簡単な方法がなかった。（14点）</p> <p>問2： 飲み物の糖분을減らし、イチゴやカラメルの芳香のような他の甘みを知覚させるものを加え、砂糖がそこに入っていると思わせるように脳に錯覚を起こさせること。（12点）</p> <p>問3： 背後で高音のチャイムが鳴っているところで、飲み物をピンク色に着色し、ピンク色の部屋で丸いカップに入れて出す、といった環境。（12点）</p> <p>問4： 外科医でないと矯正できない近視とは違って、嗅覚と味覚のニューロンは数週間ごとに再生するので、風味を新たな高いレベルで味わうことができるようになるチャンスがある、ということ。（12点）</p> <p>問5： (a) on (b) of (c) by (d) without (e) from (4点×5=20点)</p>		



## 正解・解答例

教科・科目名	英語（後期日程試験：令和5年度） 2 / 2	問題番号	G C
対象学部・学科	グローバル共創科学部		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px; margin-bottom: 10px;">3</div> <p>30%</p> <p>採点時の配点 60点</p>	<p>One advantage of working in a group is that everyone can share the necessary work. For example, if you need to study a large number of books, members can read one or two books each and share the information they've gotten. Also, in groups, everyone can hear many different ideas before making a final plan. If you work by yourself, you may not consider a good range of ideas.</p> <p>One disadvantage of a group is that members often have different ideas about how fast they should work. This can lead to negative feelings among members.</p> <p>To work effectively in a group, it's important to be a good listener and to understand that someone else's idea may be better than yours. (120 words)</p>		

## 採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	英語（後期日程試験：令和5年度） 1 / 1	問題番号	G C
対象学部・学科	グローバル共創科学部		
出題のねらい	<p>① 科学分野での歴史的発見に関する英文を読んで、展開と論旨を正確に把握する英文読解力をみる。</p> <p>② ヒトの感覚器官による知覚と脳での情報処理に関する英文を読んで、展開と論旨を正確に把握する英文読解力をみる。</p> <p>③ 作文課題について、自らの考えや思いを英語で表現できる力をみる。</p>		
採点基準	<p>① 配点 35%</p> <p style="padding-left: 40px;">問1 14点 問2 14点 問3 14点 問4 14点 問5 14点</p> <p>② 配点 35%</p> <p style="padding-left: 40px;">問1 14点 問2 12点 問3 12点 問4 12点 問5 20点 ((a) 4点 (b) 4点 (c) 4点 (d) 4点 (e) 4点)</p> <p>③ 配点 30%</p> <p style="padding-left: 40px;">60点</p>		